PTA通信

令和元年度第２号　　令和元年９月26日発行
発行者　北海道えりも高等学校ＰＴＡ
ＴＥＬ　01466 - 2 - 2405（えりも高校内）
作　成　北海道えりも高等学校ＰＴＡ教養部

第69回北海道高等学校PTA連合大会胆振・日高大会に行ってきました



６月１日（土）と２日(日)の２日間、板垣照輝会長、林下英副会長、中村幸子理事、石川慎也理事、佐藤校長、加藤教頭、谷内の７名で第69回北海道高等学校PTA連合大会（胆振・日高大会）に参加してきました。今年度、えりも高校は当番校の１つであり、事前に準備をしての参加となりました。初日の午前中は受付業務で、北見支部・根室支部の学校の受付を行いました。午後は全体会に参加しました。参加者数は千人を超えており、大規模な大会となりました。全体会のメインは講演で、講師は元日本ハムファイターズで選手、コーチをされていた白井一幸さんです。メディアにもよく出演し、またコーチングに関する本も出されているのでご存知の方も多いでしょう。講演のタイトルは「可能性を引き出すコミュニケーション」です。長らく低迷していた日本ハムファイターズが、どう常勝チームに変わっていったのかをユーモアを交えて語られました。この講演の要点は、「子ども自身に考えさせること」でした。教えすぎず、傾聴が大切であると、親や指導者が子どもと関わるうえで大切なことを話されました。



２日目は分科会です。苫小牧工業高校の教室のひとつが割り当てられ、そこでテーマに沿った内容で話し合いをしていきます。司会の中村さん、林下さんが会を進めていきます。前半部分では、えりも町やえりも高校についての紹介を、板垣さんから説明していただきました。後半では、この会場のテーマ「学校・地域・PTAの協働による活動のあり方について」について、ワールドカフェ方式と呼ばれる方式でさまざまな人と交流し、討論し合いました。



なんと、この会場の出席者の中に、えりも高校前校長で、現在は八雲高校で校長をされている三浦眞児先生がいらっしゃいました。会は和やかな雰囲気で進んでいきました。まとめの意見でも、「PTA 役員以外の方々の協力が必要。小規模校、大規模校、いろいろ状況は違うけど、思いつきでも案が出たら、即実行することが大切。行政に対しては、お金やそれ以外の面も含めてどんどんお願いし、実行していくことが大切だと感じた。」「PTAの役員になると、先生といろいろ話し合えるのでメリットがある。子どもたちが地域に残ったり、地域を出たとしても将来的に戻ってくるための取り組みには、学校・地域・PTAの連携ができれば良い。子どもたちを思う気持ちは、保護者も教員もみな同じであり、地域で育て、地域に残すよう協力し合うことが大切。」などの声があり、活発に意見交換されました。参加者からの感想として、「とても参考になりました。和やかに議論できるように運営の方々が丁寧に準備されていたのが印象に残りました。このような会を体験できることが PTA 会員をするメリットとこれからもアピールしていきます。」など好評をいただき、成功裏に研修を終えることができました。



（文・谷内　敏高）

えりも高校ポスター



今年度も本校の魅力をさらに町内外にアピールするために、PTA 役員のみなさまのご協力により、えりも高校のポスターが完成しました。（写真右）。4 月の構想段階から完成・配布まで、PTA 三役・総務部をはじめとする保護者のみなさまに多大なご協力をいただきました。心よりお礼申し上げます。

今回は写真を 1 枚に絞り、生徒の若さと元気良さが伝わる写真をメインに構成しています。「1 人 1 人のレベルに合わせた学習指導」「生徒 5 人に対して先生 1 人の割合」「生徒と先生の距離が近いから何でも相談しやすい」など 1 人 1 人を大切にする本校の少人数教育の特長が宣伝されています。QR コードもありますので、えりも高校のホームページにもアクセスしてもらえればと思います。

また、メインコピーには「君の良さを伸ばす」を採用しました。自分の良さを伸ばすために、とことんチャレンジできるという意味で印象的に表現されています。充実した 3 年間の高校生活を送ってほしいという願いが込められたポスターとなっていますので、ぜひご覧になってください。

このポスターはえりも町内および近隣自治体の事業所・商店・団体・機関・施設のみなさまのご理解とご協力をいただき、合計約 150 枚掲示させていただいております。あわせてお礼申し上げます。